

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岐阜市立青山中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒502-0858
岐阜県岐阜市下土居2丁目27番1号

E-mail gichu15@seizan-j.gifu-gif.ed.jp

Website http://cms.gifu-gif.ed.jp/seizan-j/

児童生徒数 男子 215名 女子 233名 合計 448名
児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要

当校は、「生活を見つめ、自ら創り出す生徒」を学校の教育目標として、ESD 教育を、“学校教育で身に付けた力を地域や社会で発揮する場”と捉え、ESD の実践を通して、自ら問題に対し、解決にむけて活動する力の育成を目的とした。

具体的には、①環境に関わる学習・活動、②平和・人権に関わる学習・活動、③地域貢献活動を行った。

① 環境に関わる教育・活動

1年生の総合的な学習の時間では、環境をテーマに学習を進めている。学習旅行では、琵琶湖周辺で環境保全活動を行っている方々から、日常的に環境を守るために、どんな思いで活動をしているのかを学んだ。その後、岐阜市自然環境課の方に、岐阜市や自分たちの生活と環境問題を関わらせた講座を受講した。

その活動を受けて、校内に花を植える活動を行ったり、毎週水曜日に登校時に地域の清掃活動を行う Let's clean day という活動を行ったりしている。Let's clean day は、1年生時に環境学習を経験している2・3年生も、継続して活動している。



② 平和・人権に関わる学習・活動

当校の中庭には、2本のアオギリの木がある。高さは、3メートルほどだが、この木は、原爆の被害者である故・沼田鈴子さんが、1994年に当校へ講演にいらした際、植樹していただいたものである。それ以来、当校では、3年生で「平和・人権学習」に取り組んでいる。

3年生は、戦争の経緯や被害、その時代に生きた人々の様子から、「平和とは何か」について考える学習を行ってきた。学習旅行では、広島を訪れ、原爆の被害者の瀬木さんのお話や史跡めぐりを通して、自分なりの「平和とは何か」をみつけ、自分にできることは何かを考えている。

常時活動として、ペットボトルキャップの回収活動を行っている。中学生の自分たちにできることは何かを考え、ペットボトルキャップの回収活動であれば、自分たちにもできる活動だと考え、実施している。学校や家庭だけでなく、地域の公民館などに足を運び、自分からペットボトルキャップの回収を行っている生徒もいる。本年度は、NPO 法人「世界の子どもにワクチンを」の方に講演していただき、ペットボトルキャップ回収が、どのようにワクチンとなっているのかについて学習した。



② 地域貢献活動

今年度から、「ESD パスポート」を活用し、地域のボランティア活動に積極的に参加した。中学校では「“自分”にとっても、“仲間”にとってもよい判断をする」ということを指導しているが、“仲間”だけでなく、“地域の方々”にとっても、よい判断ができるようになる生徒が増えてきた。地域に暮らす一人の市民として、夏祭りや市民運動会のボランティア活動、地区の清掃活動に、積極的に参加する生徒が増えた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input checked="" type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 登校時・土、日曜日・長期休業日)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

当校では、総合的な学習の時間を中心に ESD 教育を行っており、総合学習のねらいや内容が、学校内の活動にとどまらず、地域社会にまで広がっていくように、指導内容を吟味している。

また、教科の学習や日常活動も、ESD 教育の一環であることを、年 7 回研修の場をもち、職員に徹底している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

当校では、職員の中に、ESD 教育担当を位置づけ、担当者が、積極的に職員や生徒に、ESD 教育の理念を啓発するようにしている。また、学校内の委員会活動と ESD 教育を関わらせたり、学習内容とのなかに、ESD 教育の観点を盛り込んだりするよう、職員研修を行ったりしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

当校では、ユネスコスクールとしての学校活動の評価を、具体的に行えていない。そのため、来年度以降に、評価を行い、よりよい活動を設定していきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本年度、岐阜県ユネスコ協会主催の ESD パスポート体験発表会で発表した。今まで行ってきた地域清掃やペットボトルキャップの回収活動、地域でのボランティア活動などの報告をした。生徒は、自分たちの活動が地域の方々にも認めていただけたという実感を得ることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

特に行えていないため、これから連携を図っていきたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特に行えていないため、これから連携を図っていきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応

ユネスコスクールの活動によって、日常的な活動が、地域や社会、世界につながっていることを実感しているため、生徒がより意欲的に活動に取り組むようになった。また、学校だけでなく、地域でも自分のよさをいかそうとする姿が見られるようになった。職員の指導も、学校内だけでなく、広い視野にたって、指導するようになった。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

1年生は環境学習、2年生は勤労学習、3年生は平和・人権学習を行う予定である。

1年生の環境学習は、「環境を守るとは？」をテーマに学習を進めていく。学習旅行に琵琶湖周辺の環境保全に取り組む人々の話を伺いながら、岐阜市の環境を保全していくために、自分たちに何ができるのかを考えていく。

2年生の勤労学習は、「働くとは？」をテーマに学習を進めていく。学習旅行で、第1次産業(農業・漁業)の体験を行い、働くことの苦労やよさを学ぶ。その後、職場体験を通して、働く意義や、今の自分に何ができるのかを考えていく。

3年生の平和・人権学習では、「平和とは？」をテーマに学習を進めていく。学習旅行では、広島を訪れ、被爆された方の話や、史跡をめぐる活動を通して、自分なりの平和観を考える。その後、自分の思い描く平和に向けて、自分に何ができるのかを考えていく。

それ以外の活動でも、地域のボランティアに積極的に参加を促し、地域社会に自ら貢献する力を養っていく。